

パンチ工業 (6165)

連結通期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
FY03/2021		32,462	1,613	1,676	477	21.90	2.00	568.26
FY03/2022		39,358	3,041	3,007	2,040	93.36	13.00	737.40
FY03/2023会予		43,500	3,300	3,270	2,100	94.99	13.00	-
FY03/2022	前年比	21.2%	88.5%	79.4%	327.2%	-	-	-
FY03/2023会予	前年比	10.5%	8.5%	8.7%	2.9%	-	-	-
連結半期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
1Q-2Q FY03/2022		19,523	1,768	1,736	1,258	-	-	-
3Q-4Q FY03/2022		19,834	1,273	1,271	781	-	-	-
1Q-2Q FY03/2023会予		21,500	1,660	1,640	1,070	-	-	-
3Q-4Q FY03/2023会予		22,000	1,640	1,630	1,030	-	-	-
1Q-2Q FY03/2023会予	前年比	10.1%	(6.1%)	(5.5%)	(15.0%)	-	-	-
3Q-4Q FY03/2023会予	前年比	10.9%	28.8%	28.2%	31.7%	-	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

1.0 エグゼクティブサマリー (2022年7月12日)

FA 領域への注力

金型部品の製造・販売を内外で展開するパンチ工業は、2022年3月期において上場来最高益を更新しているのに引き続いて、将来に向けての中長期的な観点においても持続的な成長を達成していくことを計画している。コロナ禍を経た後の需要の回復を着実に取り込んでいる同社においては、地域別で主力となる中国及び日本における売上高が大幅に回復している。また、東南アジア及び欧米他においても同様である。中国ではコロナ禍前の段階よりも売上高が大きくなっており、これに伴う増収効果が上場来最高益の更新にかなり寄与しているとのことである。ただし、2023年3月期に対する会社予想の前提においては、中国での増収率が減速することに加えて、人民元高に伴う現地の子会社での損益悪化も織り込まれている。一方、同社の中期経営計画「バリュークリエーション2024」(2023年3月期～2025年3月期)の期間に向けては、総計で5,000百万円に及ぶ設備投資を実施することを通して、効率的な金型部品の量産を推進していくとのことである。更には、ものづくりにおける「自動化・省人化需要を新たな成長エンジン」としていくとのことである。即ち、ファクトリーオートメーション(FA)領域において、“特注品”を含む製品への注力を進めていく方針であることが明らかにされている。そして、以上に鑑みた定量的な業績目標においては、当該期間における売上高及び営業利益の年平均成長率として、それぞれ、8.3%、18.0%を達成することが掲げられている。一方、定性的な側面においては、これを上回る成長率を達成していきたいとのことである。

IR 窓口: 経営戦略室 広報 IR 課長 松田 隼人 (03-5753-3130/info-corp@punch.co.jp)

2.0 会社概要

金型部品の製造・販売を内外で展開

商号	パンチ工業株式会社 Web サイト IR 情報 最新株価	
設立年月日	1975年3月29日	
上場年月日	2022年4月4日：東京証券取引所プライム市場（証券コード：6165） 2014年3月14日：東京証券取引所第1部 2012年12月20日：東京証券取引所第2部	
資本金	2,944百万円（2022年3月末）	
発行済株式数	22,332,400株、自己株式内数 275,868株（2022年3月末）	
特色	<ul style="list-style-type: none">● 顧客数 15,000社以上、グローバルベースで市場シェア第2位（同社推計）● 日本で市場シェア第2位、中国で市場シェア第1位● 高付加価値の特注品を金型製造業者に提供、カタログ品の販売も	
セグメント	I. 金型部品事業	
代表者	代表取締役 社長執行役員 CEO：森久保 哲司	
主要株主	エム・ティ興産 17.04%、カセイスバンクジャーマニーカスタマーアカウント 10.85%、日本マスター信託口 9.54%（2022年3月末、自己株式を除く）	
本社	東京都品川区	
従業員数	連結 4,006名、単体 1,029名（2022年3月末）	

出所：会社データ

3.0 企業ビジョン

金型部品業界でのトップブランドを目指し、「世界のパンチへ」

企業ビジョンを「金型部品業界でのトップブランドを確立し、製販一体企業としての優位性を活かした高収益企業を目指す」とする同社は、森久保有司氏（2015年6月24日付で名誉会長に就任）によって創業されている。1975年3月、東京都品川区において神庭商会株式会社を設立している同氏は、プリント基板用穴あけピン生産を始めている。また、これに引き続いて、1977年8月、商号をパンチ工業株式会社に変更している。

1982年8月、同社は、世界で初めてハイスエジェクタピンの量産化に成功し、プラスチック金型部品の生産及び販売を本格的に始めている。これに先立っては、基本的に金型部品の仕入販売を行っていたとのことである。そして、1990年10月には、中国大連で生産拠点が新設されている。当初は日本から輸入した原材料を半製品に加工するための拠点に過ぎなかったのだが、現地における家電製品や自動車の生産拡大を受けて、2002年4月より現地で製造された金型部品の現地での販売が開始されるに至っている。また、2012年12月の東京証券取引所第2部への上場を引き続いて、同社は、2014年3月、東京証券取引所第1部銘柄に指定されている。

一方、2019年11月1日、森久保哲司氏が代表取締役社長執行役員 CEO に就任している。同氏が確信しているところによれば、現状において同社が為すべきは、「我々に出来るからそれを受注する」のではなく、「お客様が求めているものに答えるために我々が変わっていく」こととのことである。即ち、「製販一体企業としての優位性」を活かして顧客が抱える課題に対して積極的に対処していく所存であることが明らかにされている。また、「金型部品業界でのトップブランド」とは、常に「お客様の第一候補」となるブランドのことであるとのことであり、これを達成していくことこそが、同氏が最重要視している経営課題である。

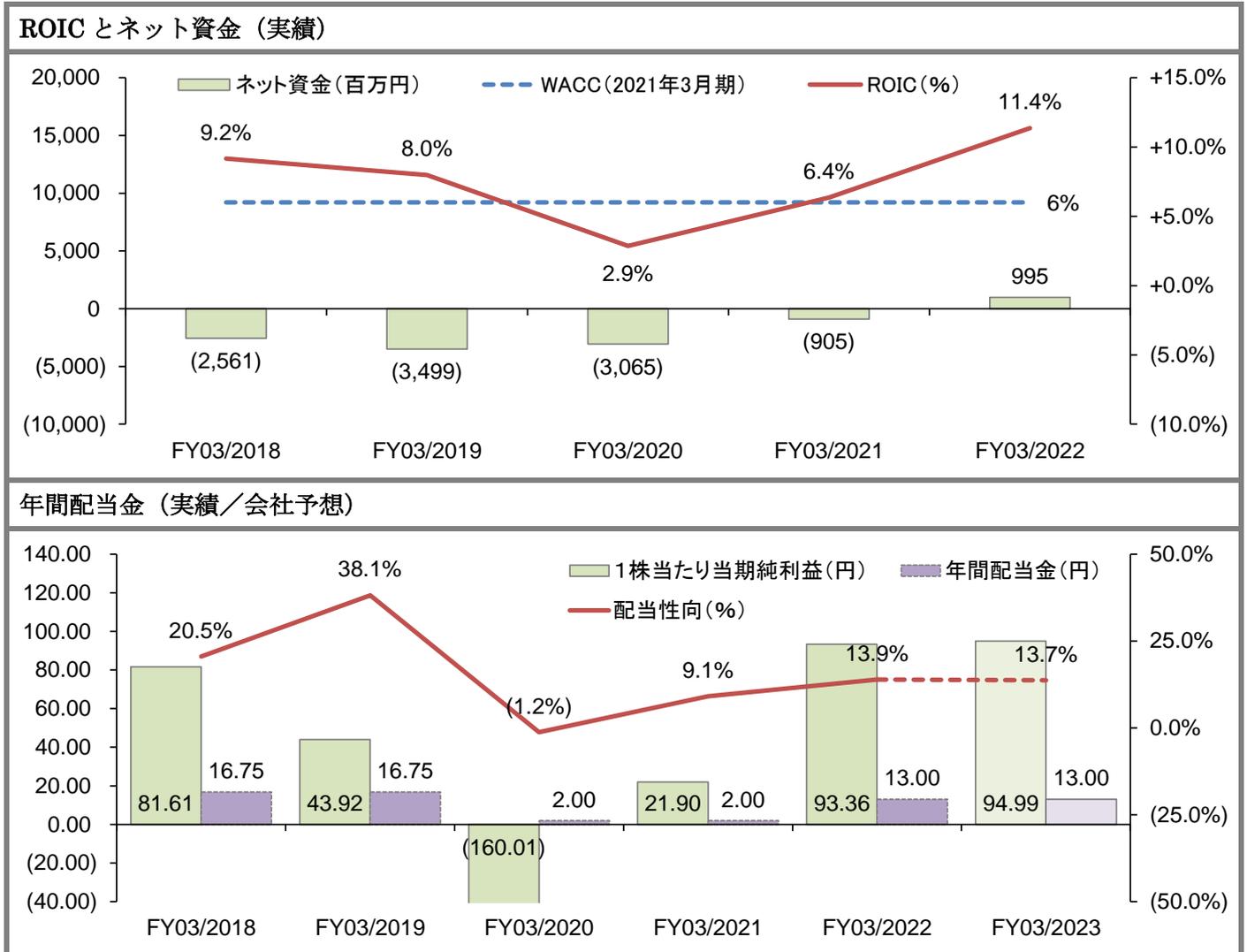
なお、2022年3月28日、同社は、中期経営計画「バリュークリエーション2024」（2023年3月期～2025年3月期）を公表しているのに引き続いて、2022年4月4日、東京証券取引所プライム市場への移行を果たしている。また、同社によれば、ものづくりにおける「自動化・省人化需要を新たな成長エンジン」として、常に「お客様の第一候補」であり続けることを「当社のありたい姿」として改めて設定し、企業価値向上を目的とする新たな施策に取り組んでいくとのことである。具体的には、「新規・既存事業の拡大」、「生産体制の強化」、「R&D強化」、以上の3項目が重点経営課題として掲げられている。一方、こういった課題への取組みを支える経営基盤の強化策として、「DX推進」、「財務戦略」、「サステナビリティ」、以上の3項目を推進していくとのことである。「サステナビリティ」の施策としては、SDGs や ESG などの「地球環境」や「社会課題」の解決を図っていくことが掲げられており、これを通じても企業価値向上を図る方針であることを同社は明らかにしている。

沿革（抄）

年月	事項
1975年3月	創業、プリント基板用穴あけピン製造
1982年8月	プラスチック金型部品に進出（ハイスエジクタピンの量産化に成功）
1983年11月	北上工場設置
1983年12月	金型部品の全国販売を開始
1989年5月	宮古パンチ工業（現：宮古工場）設立
1990年10月	中国大連に製造拠点設立
2001年7月	中国国内に販売拠点設置
2010年9月	インドに販売拠点設立
2012年12月	東京証券取引所市場第2部上場
2013年8月	パンサー社（現：マレーシア工場）をグループ会社化
2013年11月	中期経営計画「バリュークリエーション15」スタート
2014年3月	東京証券取引所市場第1部銘柄に指定
2015年3月	創業40周年
2015年12月	ベトナムに製造拠点設立
2016年3月	中期経営計画「バリュークリエーション2020」スタート
2016年10月	ベトナム工場、本稼働開始
2017年4月	米国イリノイ州に販売拠点設立
2018年5月	中国大連の製造拠点増設
2019年3月	ベトナム工場 第2フェーズ開始
2020年5月	中期経営計画「バリュークリエーション2020Plus」スタート
2020年5月	経営革新プロジェクト開始
2022年3月	中期経営計画「バリュークリエーション2024」スタート
2022年4月	東京証券取引所プライム市場へ移行

ROIC 経営

上述の「財務戦略」の内容として掲げられているのは、ROIC 経営で「稼ぐ力」を強化し、成長投資による企業価値向上と安定配当を目指すことである。同社は、中期経営計画「バリュークリエーション 2024」（2023 年 3 月期～2025 年 3 月期）の期間の当初より、これに向けての本格的な取り組みを始めている。同社が示唆するところによれば、2021 年 3 月期の実績に基づく試算における WACC は概ね 6%ほどとのことである。また、同社が示唆するところに基づいて弊社が試算するところによれば、2021 年 3 月期に対して ROIC 6.4%、2022 年 3 月期に対して ROIC 11.4%である。

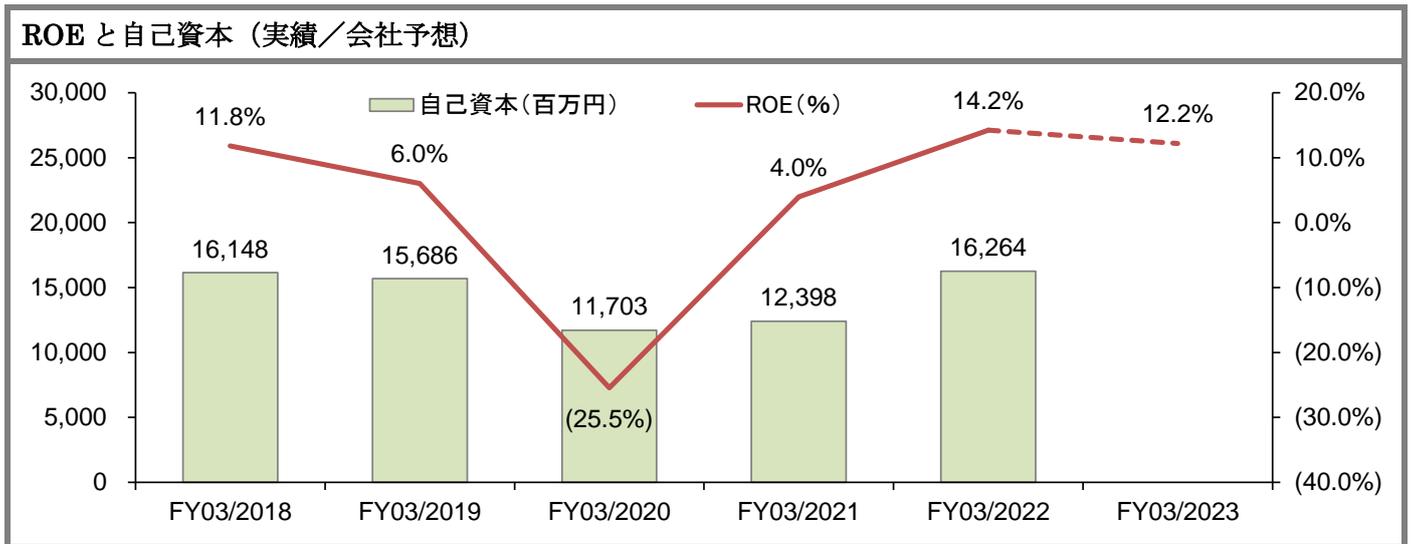


出所：会社データ、弊社計算

即ち、WACC を上回る ROIC が既に達成されているのだが、将来に向けては、「稼ぐ力」を強化することを通して、更なるスプレッド拡大を図りたいとのことである。目標としては、少なくとも 10%を超える ROIC を安定的に確保することが掲げられている一方、これをもって創出されるキャッシュを用いて、上述の通り、成長投資と安定的な配当を最適なバランスで実施していくことが計画されている。結果、中長期的な観点においても持続的な成長が実現されるとのことである。また、ここでのスプレッド拡大に向けては、あくまでも ROIC を引き上げていくことが想定されており、WACC を引き下げていく施策の実施は想定されていない。

ROE と自己資本

一方、従来通り、ROE の向上と自己資本の充実の両立を図っていくとのことである。換言すれば、将来の事業展開の拡大に向けては、レバレッジを高めていくこと（有利子負債依存度を引き上げていくこと）は想定されており、同社が有利子負債依存度を示す指標として挙げているネット資金（＝現金及び預金－リース債務他を含む有利子負債）において健全な状態を確保することも含めて、安定性の高い財務基盤を維持していく方針であることが明らかにされている。例えば、2021年12月16日、同社は、「第三者割当による行使価格修正条項付第4回新株予約権の発行に関する補足説明資料」を公表し、将来の設備投資などを用途としてエクイティ・ファイナンス（調達予定総額：1,268百万円）を実施すること並びに当該スキームの詳細を明らかにしている。なお、2022年1月4日、当該案件の割当が実施されており、翌日より概ね3年間に及ぶ行使可能期間が始まっている。また、このエクイティ・ファイナンスには、流通株式時価総額の増大に向けてという側面もあるとのことである。

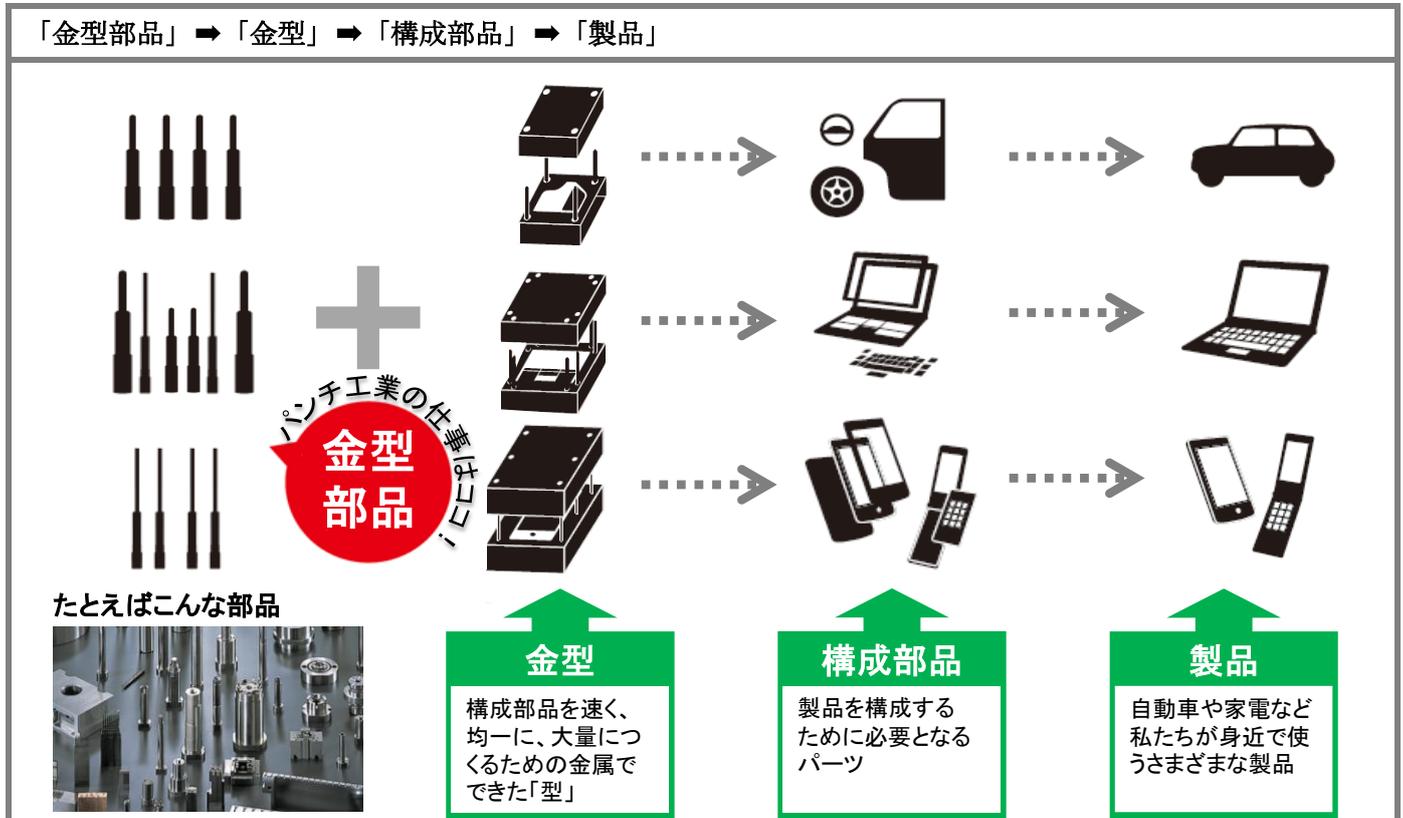


出所：会社データ、弊社計算

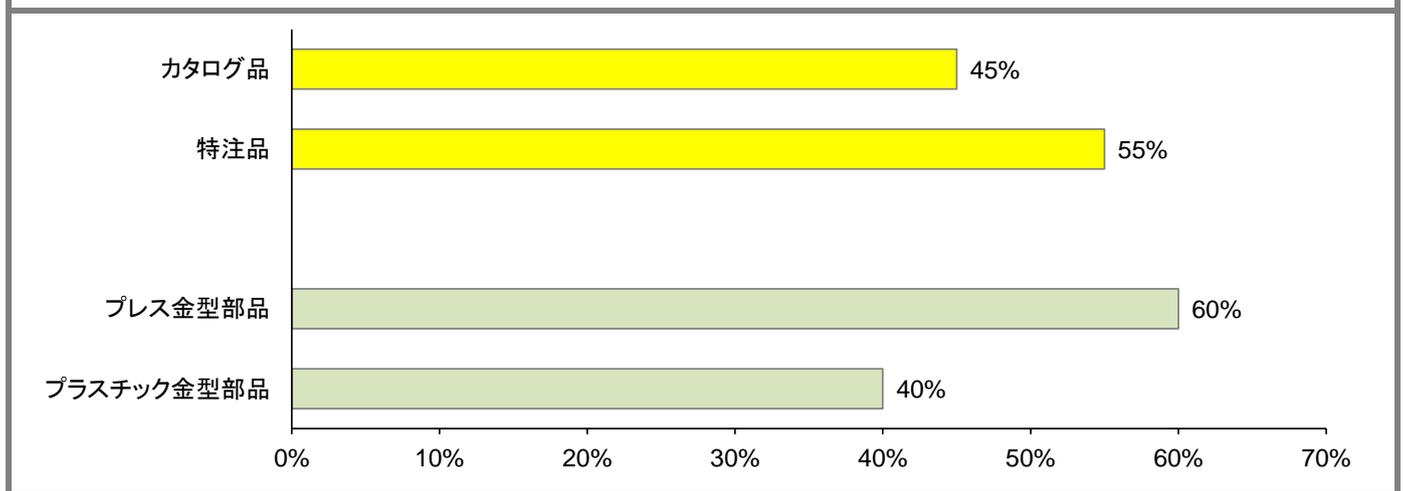
過去5年間の実績においては、米中貿易摩擦に伴う需要の急減による減損処理などが行われていることから、自己資本が大きく棄損されている局面が発生している。ただし、これは一時的な現象に留まっていることに加えて、この減損処理に伴う事後的な効果があつてこそ、これに引き続く業績推移及び自己資本の回復が発生している側面が認められる模様である。2018年3月期から2022年3月期に向けての推移においては、ROEが低減すると同時に自己資本が減少する局面を経て、両者における回復局面が引き続いている。結果、自己資本の水準は当初との比較で概ね同水準である一方、ROEの水準はむしろやや高まっている。同社は、新たな成長局面に入りつつあると考えられよう。

金型部品の製造・販売を内外で展開

同社は、金型部品の製造・販売を内外で展開している。金型部品とは、金型を形成する必要不可欠な精密部品のことである。また、金型とは、あらゆる民生用の最終製品や自動車などを構成する部品（構成部品）を均一かつ大量に生産するための金属でできた「型」のことである。最終製品が顕著に多種多様であることから、それらを文字通り構成する構成部品、そして、金型も同様に多種多様であり、そして、金型部品においても同様である。



売上高構成比（カタログ品／特注品）（プレス金型部品／プラスチック金型部品）

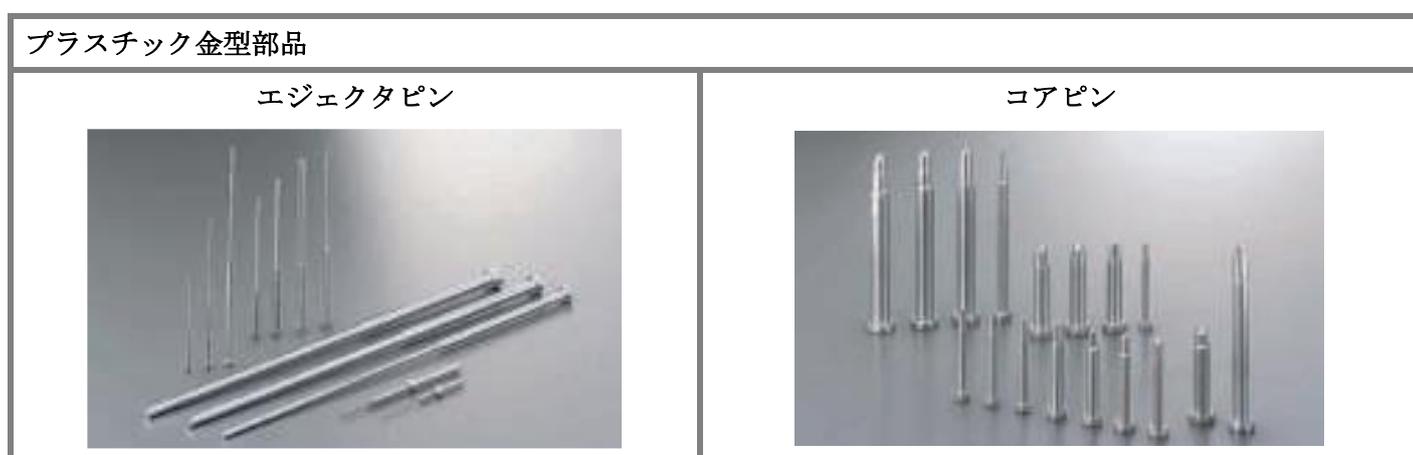


出所：会社データ、弊社計算（推測）

金型部品

同社は、プラスチック金型部品及びプレス金型部品を製造・販売している。弊社が概算で推測するところによれば、プラスチック金型部品で売上高構成比 40%、プレス金型部品で売上高構成比 60%である。また、プレス金型部品に対してプラスチック金型部品は、付加価値創造の度合いや売上総利益率が高いとされており、売上総利益の構成比としては両者の比率が概ね入れ替わるとされている。

なお、プラスチック金型部品は、プラスチック金型を構成する部品と定義されている。プラスチック金型とは、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられている金型のことである。また、プラスチック金型は、射出成形機に実装され、加熱溶融したプラスチック樹脂を金型に注入し、冷却、固化することにより製品を成形するとのことである。一方、プレス金型部品は、プレス金型を構成する部品と定義されている。プレス金型は、加工する材料である金属の鋼板を挟むことを目的とする上下に分かれた構造を有している一方、装着されるプレス機（上下運動する機械）の稼働に伴い製品を成形するとのことである。



出所：会社データ

プラスチック金型部品の主要な製品としては、エジェクタピン及びコアピンが挙げられている。エジェクタピンは、「射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）」と定義されている。一方、コアピンに関しては、「製品部を成形するのに使用」され「コアピンの形が転写」されるとのことである。更には、「製品部の貫通させた部分を成形」する働きや「製品部に彫刻」をする働きもあるとされている。

プレス金型部品

パンチ



ホルダーガイドポスト関連



出所：会社データ

プレス金型部品の主要な製品としては、パンチ及びホルダーガイドポスト関連が挙げられている。パンチに関しては、「プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴を開け形状を転写するための部品」と定義されている。なお、同社の社名はこのパンチに由来しているとのことである。一方、ホルダーガイドポスト関連に関しては、「上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品」と定義されている。

特注品とカタログ品

また、同社が製造・販売する金型部品には、特注品（個々の顧客のそれぞれの金型のスペックに対応して設計及び製造されるカスタム製品）及びカタログ品（標準製品）で構成されている側面もある。弊社が概算で推測するところによれば、特注品で売上高構成比 55%、カタログ品で売上高構成比 45%である。カタログ品に対して特注品は、付加価値創造の度合い及び売上総利益率がかなり高いとされている。カタログ品に関しては、同業他社の製品との差別化余地が限られているのだが、特注品においては、同社の技術力をもって差別化していける余地が大きいことに加えて、そもそもカスタム製品であることに起因する追加的な付加価値が創造されているとのことである。

以上にも鑑みてか、同社は、特注品の製造に深く関与している一方、カタログ品に関しては効率的な協力工場の利用を展開している側面が大きいとされている。ただし、特注品の製造においても特定の製造工程に関しては、協力工場に委託する場合もあるとのことである。協力工場は基本的に小規模事業者であるが、それぞれが特定の得意分野を持っていることが特徴となっており、場合によってはこの特徴が特注品の製造に利用されることもであるとされている。また、同社は、こういった協力工場を束ねるネットワークを築いており、全般的な協業体制の強化を推進している。

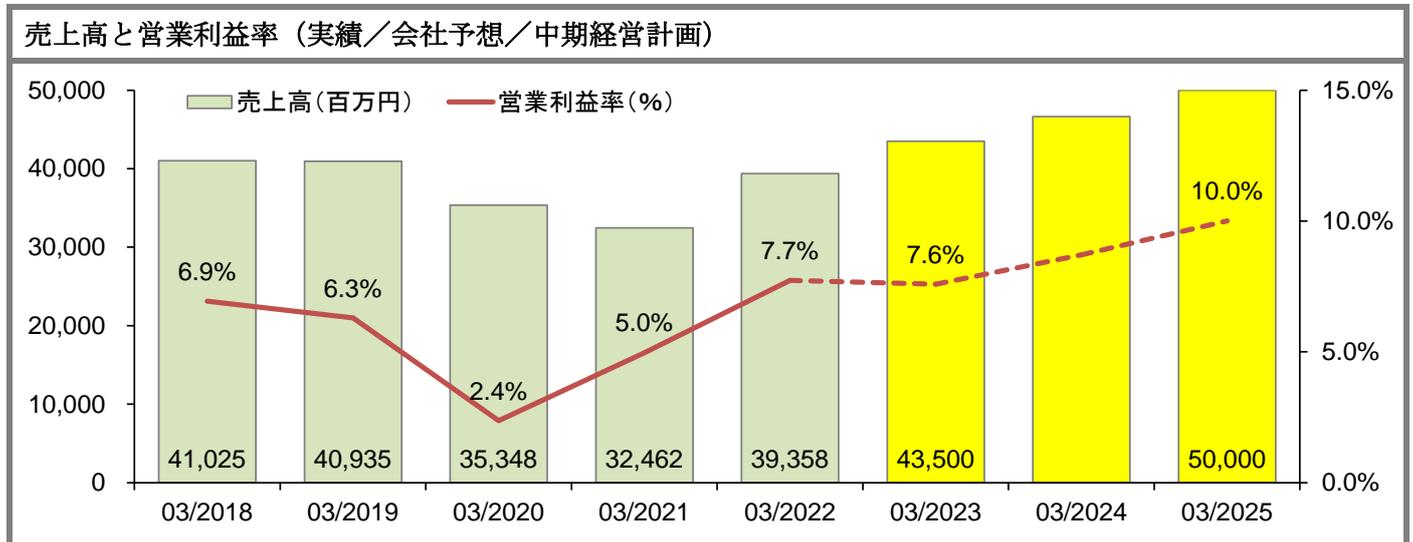
一方、販売面における同社は、カタログ品に係る Web 受注サービスの強化を推進している。現在稼働している Web 受注システム「パンチネット」を改良していくことなどを通して、「お客様の利便性向上」や「お客様フォロー体制の強化」に取り組んでいるとのことである。また、これをもって、カタログ品に係る Web 受注率を引き上げていき、顧客の観点においても同社の観点においても効率性を高めていくことが試みられている。カタログ品（標準製品）であるだけに、上述の通り、製品自体の特性においては、同業他社の製品との差別化余地が限られている。一方、顧客の観点においては、発注に際する効率性の度合いにおいて差別化要因が創出される余地があるとされている。また、同社の観点においては、受注に際する効率性を高めていくことが競争優位性を高めていくための必要条件となるとされている。即ち、受注に係る省力化などをどれだけ推進していけるかが、結果的に将来におけるカタログ品の売上高の多寡を決定する要因になるとのことである。

同社としての売上高の90%近くを占めている日本及び中国においては、2022年3月期に対してカタログ品に係るWeb受注率39%での着地とのことである。一方、中期経営計画「バリュークリエーション2024」（2023年3月期～2025年3月期）の最終年度である2025年3月期に向けては、「パンチネット」改良を通して、「お客様の利便性向上」を図り、この比率を48%にまで引き上げていることが計画されている。また、「お客様フォロー体制の強化」を確実なものにしていくことを目的として、2022年1月に提供を開始している新サービス「3D計測パートナーズ」の活用を進めていくとのことである。ここでは、製品の形状を測定する一方、そのデータを加工・分析することを通して不具合原因の究明や改善策を提案していくとのことである。

4.0 業績推移

2022年3月期

2022年3月期は、売上高 39,358 百万円（前年比 21.2%増）、営業利益 3,041 百万円（88.5%増）、経常利益 3,007 百万円（79.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 2,040 百万円（327.2%増）での着地である。また、営業利益率 7.7%（2.8%ポイント上昇）である。



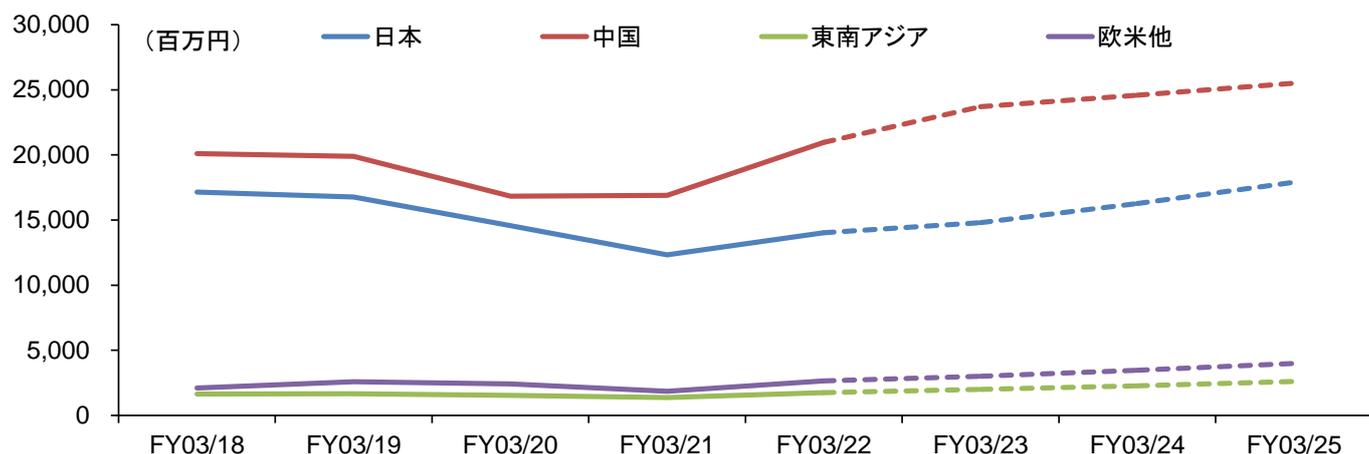
出所：会社データ、弊社計算

コロナ禍前を上回る売上高

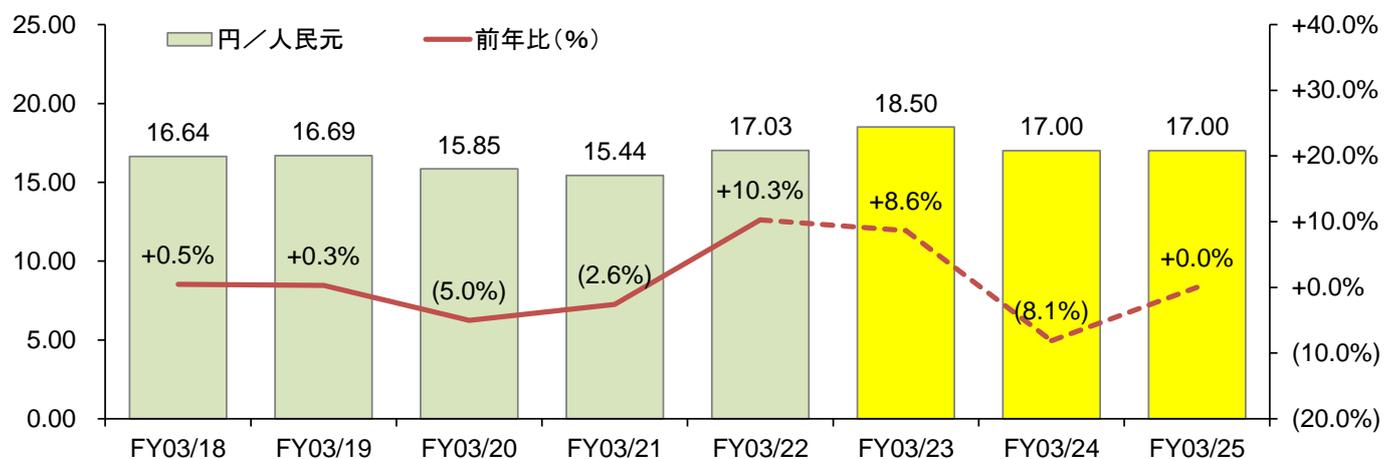
新型コロナウイルス感染症は、2019年12月初旬に第1例目の感染者が報告されてから数ヵ月を経て、世界的なパンデミックに移行している。海外の子会社の年度末が12月であることにも鑑みれば、2020年3月期の実績は、コロナ禍の影響を受ける前の段階にあると考えられよう。また、2022年3月期の売上高は、この段階での売上高 35,348 百万円との比較で 4,010 百万円（11.3%）増加している。人民元に対する円安が進行していることによる影響もあるものの、ここでは中国による寄与がかなり大きくなっている。一方、東南アジア及び欧米他による寄与も認められるものの、日本における売上高がこの段階における水準までに回復していないことによつて、当該寄与は概ね相殺されている。

一方、2023年3月期に対する会社予想においては、売上高 43,500 百万円（10.5%増）が見込まれている。また、中期経営計画「バリュークリエーション 2024」（2023年3月期～2025年3月期）の期間に向けては、売上高に関して年平均成長率 8.3%が見込まれている。地域別及び業種別での動向は下記に示す通りである。

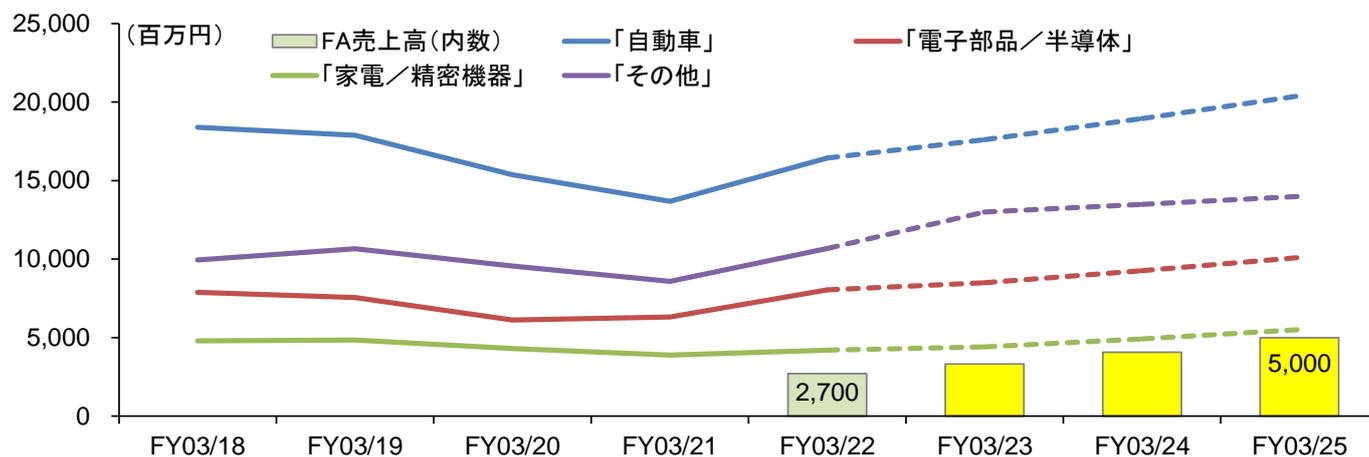
地域別売上高（実績／会社予想／中期経営計画）



人民元に対する円レート（実績／会社予想／中期経営計画）



業種別売上高（実績／会社予想／中期経営計画）



出所：会社データ、弊社計算

地域別売上高

2022年3月期においては、日本で売上高 14,020 百万円 (13.6%増)、中国で売上高 20,956 百万円 (24.1%増/現地通貨ベース:12.5%増)、東南アジアで売上高 1,740 百万円 (26.4%増)、欧米他で売上高 2,641 百万円 (42.2%増) である。

地域別売上高 (実績/会社予想/中期経営計画)						
	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025	「CAGR」
日本	12,338	14,020	14,800	-	17,900	+8.5%
中国	16,888	20,956	23,700	-	25,500	+6.8%
東南アジア	1,376	1,740	2,000	-	2,600	+14.3%
欧米他	1,858	2,641	3,000	-	4,000	+14.8%
日本 (前年比)	(15.3%)	+13.6%	+5.6%	+10.0%	+10.0%	-
中国 (前年比)	+0.3%	+24.1%	+13.1%	+3.7%	+3.7%	-
東南アジア (前年比)	(10.3%)	+26.4%	+14.9%	+14.0%	+14.0%	-
欧米他 (前年比)	(22.9%)	+42.2%	+13.6%	+15.5%	+15.5%	-

出所：会社データ、弊社計算 (2024年3月期及び2025年3月期の前年比：当該年度の年平均成長率)

日本においては、「電子部品/半導体」が好調を維持していることに加えて、「自動車」の回復も寄与していることである。ただし、2021年3月期においてはコロナ禍に伴う減収幅が大きく、2020年3月期との比較においては545百万円(3.7%)の減収を余儀なくされている。中国においては、遍く全業種において好調な推移が認められるとのことである。また、東南アジアにおいては、シンガポールやマレーシア、ベトナムでの売上高が特に好調に推移しているとされている。欧米他においては、「その他」に帰属する医療関連や「電子部品/半導体」が堅調に推移しているとのことである。

一方、2023年3月期に対する会社予想においては、各地域における増収が引き続くことが見込まれている。また、中期経営計画「バリュークリエーション2024」(2023年3月期~2025年3月期)の期間に向けては、各地域において更なる増収が引き続くことが見込まれている。ただし、同社としての増収を牽引してきた側面が強い中国を含めて、2022年3月期から2023年3月期に向けては、増収率が減速することが想定されている。また、「CAGR」(中計3年間における年平均成長率)に鑑みれば、東南アジア及び欧米他における増収率が特に大きくなるが見込まれていることになる。東南アジアにおいては、「電子部品/半導体」の売上高を拡大していくことに注力していくことに加えて、ベトナム工場を活用した現地での地産地消を検討していくとのことである。そして、米国においては、「その他」に帰属する医療関連の拡販に注力する方針が明らかにされている。また、欧州においては、現地の販売代理店との連携を強化するとのことである。

業種別売上高

2022年3月期の業種別売上高の推移としては、「自動車」で売上高16,442百万円（20.2%増）、「電子部品／半導体」で売上高8,043百万円（27.4%増）、「家電／精密機器」で売上高4,192百万円（7.8%増）、「その他」で売上高10,679百万円（24.5%増）である。

業種別売上高（実績／会社予想／中期経営計画）						
	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025	「CAGR」
「自動車」	13,682	16,442	17,600	-	20,400	+7.5%
「電子部品／半導体」	6,315	8,043	8,500	-	10,100	+7.9%
「家電／精密機器」	3,888	4,192	4,400	-	5,500	+9.5%
「その他」	8,574	10,679	13,000	-	14,000	+9.4%
FA売上高(内数)	-	2,700	-	-	5,000	+22.2%
「自動車」（前年比）	(11.0%)	+20.2%	+7.0%	+7.7%	+7.7%	-
「電子部品／半導体」（前年比）	+3.3%	+27.4%	+5.7%	+9.0%	+9.0%	-
「家電／精密機器」（前年比）	(9.5%)	+7.8%	+5.0%	+11.8%	+11.8%	-
「その他」（前年比）	(10.4%)	+24.5%	+21.7%	+3.8%	+3.8%	-

出所：会社データ、弊社計算（2024年3月期及び2025年3月期の前年比：当該年度の年平均成長率）

コロナ禍の影響を受ける前の段階である2020年3月期との比較においては、「電子部品／半導体」の売上高が、持続的に堅調な需要を背景として顕著に拡大している。また、「自動車」及び「その他」もこの観点において増収を確保している。「自動車」においては、中国における増収が大きく寄与しているのだが、コロナ禍前との比較では日本における回復が停滞しているとのことである。一方、「その他」の増収の背景として挙げられているのは、医療関連が引き続き好調に推移していることである。更には、食品関連に復調気配が認められることである。また、「家電／精密機械」の売上高は、コロナ禍前の段階を下回っている。いわゆる巣ごもり需要が一巡していることが主因とのことである。また、2022年3月期においては、FA売上高（内数）が概ね2,700百万円ほどであることが開示されている。これは、上述の各業種に帰属する製造業者が、ファクトリーオートメーション（FA）に関連した領域で用いている同社の金型部品（主に特注品）の売上高を抜き出して合算したものである。

一方、2023年3月期に対する会社予想においては、各業種における増収が引き続くことが見込まれている。また、中期経営計画「バリュークリエーション2024」（2023年3月期～2025年3月期）の期間に向けては、各業種における更なる増収が引き続くことが見込まれている。そして、「CAGR」（中計3年間における年平均成長率）に鑑みれば、各業種における売上高の成長率はほぼ同等である。カタログ品に関しては、先述にある受注サービスの強化による寄与が拡大していくことが想定されている一方、いずれの業種においても最終製品の数量増に伴う需要の増加を着実に取り込んでいけることが想定されている模様である。また、FA売上高（内数）の大幅な増収が各業種における増収率を加速させていくことも想定されている模様である。同社によれば、FA市場は将来に向けて持続的な拡大を遂げる可能性が高い一方、独自の自社ノウハウを活用してここでの成長を着実に取り込んでいける可能性も高いとのことである。

例えば、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の資料によれば、2020年から2035年に向けての日本における産業用ロボット市場の規模は、2.9兆円から9.7兆円（年平均成長率8.5%）にまで拡大するとされている。また、同社が深く関与している製造分野に限っても1.3兆円から2.7兆円（年平均成長率5.3%）にまで拡大するとされているとのことであり、FA市場もこれにリンクする形で拡大していくことが示唆されている。そして、独自の自社ノウハウをもってすれば、市場の成長を上回る成長を達成することが可能であることが示唆されていると考えられよう。ただし、同社の中計の前提においては、外部との業務提携やM&Aによる効果も織り込まれている模様である。一方、将来的には、独自の自社ノウハウの応用をもって、FA領域で用いられる“特注品”による寄与が始まる見込みとのことである。即ち、「簡易動力付き装置」の製造・販売を開始することに引き続いて、「生産ライン装置」の製造・販売も開始することが計画されている。

営業利益率 7.7% (2.8%ポイント上昇)

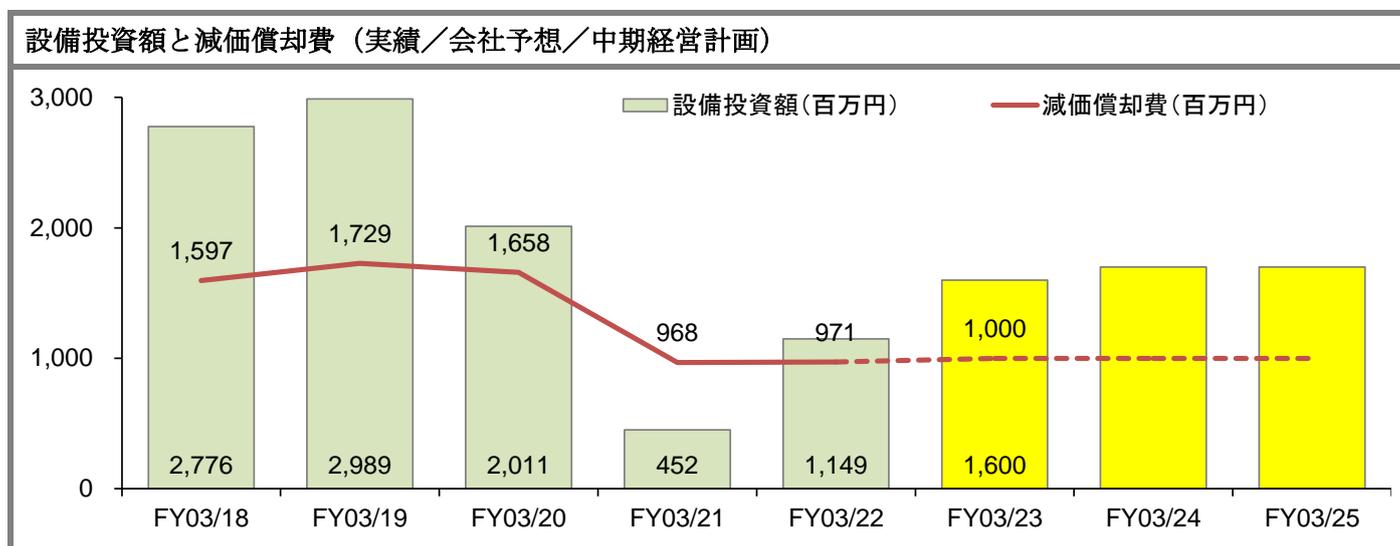
2022年3月期においては、売上総利益 11,444 百万円 (26.0%増)、販売管理費 8,403 百万円 (12.4%増) での着地であり、売上総利益率 29.1% (1.1%ポイント上昇)、売上高販売管理費率 21.4% (1.7%ポイント低下) である。また、結果、営業利益率 7.7% (2.8%ポイント上昇) である。

売上総利益率の上昇の背景として挙げられているのは、大幅な増収に伴う工場における稼働状況の改善並びに経営革新プロジェクト（開始：2020年5月）による成果の拡大である。販売管理費の増加に関しては、増収に連動して増加する経費が増加していることに加えて、同社がグループ全体で抑制してきた経費の一部が増加に転じていることである。ただし、販売管理費の増加率は増収率を下回る水準に留まっており、これに呼応する分だけ営業利益率を引き上げている。

一方、2023年3月期に対する会社予想においては、営業利益率が漸減することが見込まれている。ただし、中期経営計画「バリュークリエーション 2024」（2023年3月期～2025年3月期）の期間という観点においては、一時的な調整局面となることが見込まれており、中期的な観点における営業利益率は右肩上がりでの推移が続けることが見込まれている。2023年3月期に向けては、原材料費や人件費を中心とする費用の増加が大きくなることが見込まれていることに加えて、中国の子会社においては人民元高に伴う採算悪化が発生するとのことである。人民元高による採算悪化は、2022年3月期においても発生しているのだが、大幅な増収に伴う増収効果の発生によって十二分に補われているとのことである。ただし、2023年3月期に向けては、中国における増収率が減速することが想定されており、これに伴い増収効果も低減するとされている。結果、人民元高に伴う採算悪化を増収効果によって十分補うことができなくなることが想定されている模様である。

設備投資額と減価償却費

中期経営計画「バリュークリエーション 2024」（2023 年 3 月期～2025 年 3 月期）の期間に向けては、総計で 5,000 百万円に及ぶ設備投資を実施することを通して、効率的な金型部品の量産を追求していくとのことである。特に、海外での設備投資に注力していく方針であることが明らかにされている。国内で総計 2,000 百万円、海外で総計 3,000 百万円を計画しているとのことである。また、2022 年 3 月期の設備投資額 1,149 百万円においては、海外で概ね 900 百万円であることが開示されている。



出所：会社データ、弊社計算

マレーシア工場や大連工場に代表される海外 8 工場においても、北上工場や宮古工場に代表される国内 4 工場においても、生産能力の引き上げを図る一方、IT ツールも活用した自動化並びに省力化を推進することをもって生産性の引き上げも図るとのことである。また、外部の協力工場をフルに活用することを通して、最適な製造及び調達体制を確立していくとのことである。更には、効率性の引き上げを目的とする国内 4 工場における生産移管も計画されており、ここからの寄与も期待できるとされている。

2022年3月期に対する会社予想と実績

連結通期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
FY03/2022会予	2021年5月13日	4Q決算発表	36,500	2,200	2,150	1,450
FY03/2022会予	2021年8月6日	1Q決算発表	37,400	2,550	2,470	1,450
		増減額	900	350	320	0
		増減率	2.5%	15.9%	14.9%	0.0%
FY03/2022会予	2021年11月11日	2Q決算発表	37,400	2,550	2,470	1,450
FY03/2022会予	2021年12月10日	業績予想修正	38,400	2,800	2,710	1,630
		増減額	1,000	250	240	180
		増減率	2.7%	9.8%	9.7%	12.4%
FY03/2022会予	2022年2月10日	3Q決算発表	39,000	2,850	2,790	1,790
		増減額	600	50	80	160
		増減率	1.6%	1.8%	3.0%	9.8%
FY03/2022実績	2022年5月13日	4Q決算発表	39,358	3,041	3,007	2,040
		増減額	358	191	217	250
		増減率	0.9%	6.7%	7.8%	14.0%
FY03/2022会予	2021年5月13日	4Q決算発表	36,500	2,200	2,150	1,450
FY03/2022実績	2022年5月13日	4Q決算発表	39,358	3,041	3,007	2,040
		増減額	2,858	841	857	590
		増減率	7.8%	38.2%	39.9%	40.7%
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
1Q-2Q FY03/2022会予	2021年5月13日	4Q決算発表	18,800	1,200	1,180	770
1Q-2Q FY03/2022会予	2021年8月6日	1Q決算発表	19,200	1,550	1,500	980
		増減額	400	350	320	210
		増減率	2.1%	29.2%	27.1%	27.3%
1Q-2Q FY03/2022実績	2021年11月11日	2Q決算発表	19,523	1,768	1,736	1,258
		増減額	323	218	236	278
		増減率	1.7%	14.1%	15.7%	28.4%
1Q-2Q FY03/2022会予	2021年5月13日	4Q決算発表	18,800	1,200	1,180	770
1Q-2Q FY03/2022実績	2021年11月11日	2Q決算発表	19,523	1,768	1,736	1,258
		増減額	723	568	556	488
		増減率	3.8%	47.3%	47.1%	63.4%
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
3Q-4Q FY03/2022会予	2021年5月13日	4Q決算発表	17,700	1,000	970	680
3Q-4Q FY03/2022会予	2021年8月6日	1Q決算発表	18,200	1,000	970	470
		増減額	500	0	0	(210)
		増減率	2.8%	0.0%	0.0%	(30.9%)
3Q-4Q FY03/2022会予	2021年11月11日	2Q決算発表	17,877	782	734	192
		増減額	(323)	(218)	(236)	(278)
		増減率	(1.8%)	(21.8%)	(24.3%)	(59.1%)
3Q-4Q FY03/2022会予	2021年12月10日	業績予想修正	18,877	1,032	974	372
		増減額	1,000	250	240	180
		増減率	5.6%	32.0%	32.7%	93.8%
3Q-4Q FY03/2022会予	2022年2月10日	3Q決算発表	19,477	1,082	1,054	532
		増減額	600	50	80	160
		増減率	3.2%	4.8%	8.2%	43.0%
3Q-4Q FY03/2022実績	2022年5月13日	4Q決算発表	19,834	1,273	1,271	781
		増減額	357	191	217	249
		増減率	1.8%	17.7%	20.6%	46.8%
3Q-4Q FY03/2022会予	2021年5月13日	4Q決算発表	17,700	1,000	970	680
3Q-4Q FY03/2022実績	2022年5月13日	4Q決算発表	19,834	1,273	1,271	781
		増減額	2,134	273	301	101
		増減率	12.1%	27.3%	31.0%	14.9%

出所：会社データ、弊社計算

損益計算書（四半期累計／四半期）

損益計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021	1Q 03/2022	2Q累計 03/2022	3Q累計 03/2022	4Q累計 03/2022		
売上高	7,169	15,412	23,658	32,462	9,278	19,523	29,372	39,358	+6,896	
売上原価	5,315	11,413	17,206	23,375	6,521	13,659	20,613	27,913	+4,538	
売上総利益	1,853	3,999	6,452	9,086	2,756	5,864	8,759	11,444	+2,358	
販売費及び一般管理費	1,828	3,685	5,519	7,473	1,960	4,095	6,188	8,403	+929	
営業利益	24	313	932	1,613	796	1,768	2,570	3,041	+1,428	
営業外損益	(18)	59	72	63	(34)	(32)	(26)	(33)	(97)	
経常利益	6	372	1,005	1,676	761	1,736	2,543	3,007	+1,331	
特別損益	(13)	(703)	(719)	(662)	(30)	(48)	(66)	(159)	+502	
税金等調整前純利益	(7)	(331)	285	1,014	731	1,687	2,477	2,847	+1,833	
法人税等合計	67	212	365	535	203	426	697	802	+266	
非支配株主に帰属する純利益	0	1	0	1	0	1	2	4	+3	
親会社株主に帰属する当期純利益	(76)	(544)	(80)	477	526	1,258	1,778	2,040	+1,563	
売上高伸び率	(15.8%)	(14.3%)	(11.4%)	(8.2%)	+29.4%	+26.7%	+24.2%	+21.2%	-	
営業利益伸び率	-	+290.5%	+286.0%	+93.0%	-	+464.7%	+175.5%	+88.5%	-	
経常利益伸び率	-	-	+443.5%	+135.1%	-	+365.7%	+153.0%	+79.4%	-	
親会社株主に帰属する当期純利益伸び率	-	-	-	-	-	-	-	+327.2%	-	
売上総利益率	25.9%	25.9%	27.3%	28.0%	29.7%	30.0%	29.8%	29.1%	+1.1%	
売上高販売管理費率	25.5%	23.9%	23.3%	23.0%	21.1%	21.0%	21.1%	21.4%	(1.7%)	
営業利益率	0.3%	2.0%	3.9%	5.0%	8.6%	9.1%	8.8%	7.7%	+2.8%	
経常利益率	0.1%	2.4%	4.2%	5.2%	8.2%	8.9%	8.7%	7.6%	+2.5%	
親会社株主に帰属する当期純利益率	(1.1%)	(3.5%)	(0.3%)	1.5%	5.7%	6.4%	6.1%	5.2%	+3.7%	
法人税等合計／税金等調整前純利益	-	-	128.0%	52.8%	27.9%	25.3%	28.1%	28.2%	(24.6%)	
損益計算書	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比	
(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	純増減	
	03/2021	03/2021	03/2021	03/2021	03/2022	03/2022	03/2022	03/2022		
売上高	7,169	8,243	8,245	8,803	9,278	10,245	9,849	9,985	+1,182	
売上原価	5,315	6,097	5,792	6,168	6,521	7,137	6,954	7,299	+1,130	
売上総利益	1,853	2,145	2,453	2,634	2,756	3,107	2,894	2,685	+51	
販売費及び一般管理費	1,828	1,857	1,833	1,954	1,960	2,135	2,092	2,214	+260	
営業利益	24	288	619	680	796	971	802	471	(209)	
営業外損益	(18)	78	12	(9)	(34)	2	5	(7)	+1	
経常利益	6	366	632	671	761	974	807	463	(207)	
特別損益	(13)	(690)	(16)	57	(30)	(18)	(17)	(93)	(151)	
税金等調整前純利益	(7)	(323)	616	728	731	955	790	370	(358)	
法人税等合計	67	144	153	170	203	222	270	104	(65)	
非支配株主に帰属する純利益	0	0	(0)	0	0	0	0	2	+2	
親会社株主に帰属する当期純利益	(76)	(468)	463	558	526	732	519	262	(295)	
売上高伸び率	(15.8%)	(13.1%)	(5.4%)	+1.9%	+29.4%	+24.3%	+19.4%	+13.4%	-	
営業利益伸び率	-	+163.1%	+283.8%	+14.5%	-	+237.2%	+29.4%	(30.7%)	-	
経常利益伸び率	-	+293.8%	+247.3%	+27.1%	-	+165.7%	+27.7%	(30.9%)	-	
親会社株主に帰属する当期純利益伸び率	-	-	-	-	-	-	+12.0%	(53.0%)	-	
売上総利益率	25.9%	26.0%	29.7%	29.9%	29.7%	30.3%	29.4%	26.9%	(3.0%)	
売上高販売管理費率	25.5%	22.5%	22.2%	22.2%	21.1%	20.8%	21.2%	22.2%	(0.0%)	
営業利益率	0.3%	3.5%	7.5%	7.7%	8.6%	9.5%	8.1%	4.7%	(3.0%)	
経常利益率	0.1%	4.4%	7.7%	7.6%	8.2%	9.5%	8.2%	4.6%	(3.0%)	
親会社株主に帰属する当期純利益率	(1.1%)	(5.7%)	5.6%	6.3%	5.7%	7.1%	5.3%	2.6%	(3.7%)	
法人税等合計／税金等調整前純利益	-	-	24.9%	23.4%	27.9%	23.3%	34.2%	28.3%	+5.0%	

出所：会社データ、弊社計算

地域別売上高（四半期累計／四半期）

地域別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021	1Q 03/2022	2Q累計 03/2022	3Q累計 03/2022	4Q累計 03/2022		
日本	3,063	5,850	8,950	12,338	3,475	6,897	10,440	14,020	+1,682	
中国	3,325	8,025	12,385	16,888	4,851	10,441	15,653	20,956	+4,068	
東南アジア	344	665	997	1,376	394	841	1,281	1,740	+364	
欧米他	436	871	1,325	1,858	556	1,342	1,998	2,641	+783	
売上高	7,169	15,412	23,658	32,462	9,278	19,523	29,372	39,358	+6,896	
日本	(17.6%)	(22.0%)	(18.5%)	(15.3%)	+13.5%	+17.9%	+16.6%	+13.6%	-	
中国	(14.3%)	(5.5%)	(3.1%)	+0.3%	+45.9%	+30.1%	+26.4%	+24.1%	-	
東南アジア	(2.4%)	(10.6%)	(12.7%)	(10.3%)	+14.6%	+26.5%	+28.5%	+26.4%	-	
欧米他	(22.6%)	(30.7%)	(27.0%)	(22.9%)	+27.5%	+54.1%	+50.8%	+42.2%	-	
売上高(前年比)	(15.8%)	(14.3%)	(11.4%)	(8.2%)	+29.4%	+26.7%	+24.2%	+21.2%	-	
日本	42.7%	38.0%	37.8%	38.0%	37.5%	35.3%	35.5%	35.6%	-	
中国	46.4%	52.1%	52.3%	52.0%	52.3%	53.5%	53.3%	53.2%	-	
東南アジア	4.8%	4.3%	4.2%	4.2%	4.2%	4.3%	4.4%	4.4%	-	
欧米他	6.1%	5.7%	5.6%	5.7%	6.0%	6.9%	6.8%	6.7%	-	
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	
地域別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2021	2Q 03/2021	3Q 03/2021	4Q 03/2021	1Q 03/2022	2Q 03/2022	3Q 03/2022	4Q 03/2022		
日本	3,063	2,786	3,099	3,388	3,475	3,422	3,542	3,579	+191	
中国	3,325	4,700	4,360	4,503	4,851	5,590	5,211	5,303	+800	
東南アジア	344	321	331	379	394	447	439	459	+80	
欧米他	436	434	454	532	556	785	656	643	+111	
売上高	7,169	8,243	8,245	8,803	9,278	10,245	9,849	9,985	+1,182	
日本	(17.6%)	(26.4%)	(10.8%)	(5.6%)	+13.5%	+22.8%	+14.3%	+5.6%	-	
中国	(14.3%)	+2.0%	+1.7%	+10.9%	+45.9%	+18.9%	+19.5%	+17.8%	-	
東南アジア	(2.4%)	(17.9%)	(16.6%)	(3.6%)	+14.6%	+39.3%	+32.6%	+21.1%	-	
欧米他	(22.6%)	(37.3%)	(18.9%)	(10.4%)	+27.5%	+80.9%	+44.5%	+20.9%	-	
売上高(前年比)	(15.8%)	(13.1%)	(5.4%)	+1.9%	+29.4%	+24.3%	+19.4%	+13.4%	-	
日本	42.7%	33.8%	37.6%	38.5%	37.5%	33.4%	36.0%	35.8%	-	
中国	46.4%	57.0%	52.9%	51.1%	52.3%	54.6%	52.9%	53.1%	-	
東南アジア	4.8%	3.9%	4.0%	4.3%	4.2%	4.4%	4.5%	4.6%	-	
欧米他	6.1%	5.3%	5.5%	6.0%	6.0%	7.7%	6.7%	6.4%	-	
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	

出所：会社データ、弊社計算

業種別売上高（四半期累計／四半期）

業種別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021	1Q 03/2022	2Q累計 03/2022	3Q累計 03/2022	4Q累計 03/2022		
「自動車」	3,065	6,610	10,059	13,682	3,880	8,113	12,221	16,442	+2,760	
「電子部品／半導体」	1,444	2,924	4,536	6,315	1,968	4,132	6,091	8,043	+1,728	
「家電／精密機器」	874	1,814	2,848	3,888	988	2,062	3,131	4,192	+304	
「その他」	1,785	4,063	6,213	8,574	2,441	5,215	7,928	10,679	+2,105	
売上高	7,169	15,412	23,658	32,462	9,278	19,523	29,372	39,358	+6,896	
「自動車」	(18.4%)	(16.2%)	(14.4%)	(11.0%)	+26.6%	+22.7%	+21.5%	+20.2%	-	
「電子部品／半導体」	+11.9%	(0.3%)	+1.1%	+3.3%	+36.3%	+41.3%	+34.3%	+27.4%	-	
「家電／精密機器」	(28.2%)	(19.7%)	(13.8%)	(9.5%)	+13.0%	+13.7%	+9.9%	+7.8%	-	
「その他」	(20.6%)	(17.3%)	(13.3%)	(10.4%)	+36.8%	+28.4%	+27.6%	+24.5%	-	
売上高(前年比)	(15.8%)	(14.3%)	(11.4%)	(8.2%)	+29.4%	+26.7%	+24.2%	+21.2%	-	
「自動車」	42.8%	42.9%	42.5%	42.1%	41.8%	41.6%	41.6%	41.8%	-	
「電子部品／半導体」	20.1%	19.0%	19.2%	19.5%	21.2%	21.2%	20.7%	20.4%	-	
「家電／精密機器」	12.2%	11.8%	12.0%	12.0%	10.6%	10.6%	10.7%	10.7%	-	
「その他」	24.9%	26.4%	26.3%	26.4%	26.3%	26.7%	27.0%	27.1%	-	
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	
業種別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2021	2Q 03/2021	3Q 03/2021	4Q 03/2021	1Q 03/2022	2Q 03/2022	3Q 03/2022	4Q 03/2022		
「自動車」	3,065	3,544	3,448	3,623	3,880	4,233	4,107	4,221	+598	
「電子部品／半導体」	1,444	1,480	1,612	1,779	1,968	2,164	1,958	1,952	+173	
「家電／精密機器」	874	939	1,034	1,040	988	1,073	1,069	1,061	+21	
「その他」	1,785	2,277	2,150	2,361	2,441	2,773	2,713	2,750	+389	
売上高	7,169	8,243	8,245	8,803	9,278	10,245	9,849	9,985	+1,182	
「自動車」	(18.4%)	(14.2%)	(10.8%)	+0.2%	+26.6%	+19.4%	+19.1%	+16.5%	-	
「電子部品／半導体」	+11.9%	(9.9%)	+3.9%	+9.3%	+36.3%	+46.2%	+21.5%	+9.7%	-	
「家電／精密機器」	(28.2%)	(9.9%)	(1.1%)	+4.6%	+13.0%	+14.3%	+3.4%	+2.0%	-	
「その他」	(20.6%)	(14.5%)	(4.7%)	(1.5%)	+36.8%	+21.8%	+26.2%	+16.5%	-	
売上高(前年比)	(15.8%)	(13.1%)	(5.4%)	+1.9%	+29.4%	+24.3%	+19.4%	+13.4%	-	
「自動車」	42.8%	43.0%	41.8%	41.2%	41.8%	41.3%	41.7%	42.3%	-	
「電子部品／半導体」	20.1%	18.0%	19.5%	20.2%	21.2%	21.1%	19.9%	19.5%	-	
「家電／精密機器」	12.2%	11.4%	12.5%	11.8%	10.6%	10.5%	10.9%	10.6%	-	
「その他」	24.9%	27.6%	26.1%	26.8%	26.3%	27.1%	27.5%	27.5%	-	
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	

出所:会社データ、弊社計算

貸借対照表（四半期）

貸借対照表 (百万円)	連結実績	前年比 純増減								
	1Q 03/2021	2Q 03/2021	3Q 03/2021	4Q 03/2021	1Q 03/2022	2Q 03/2022	3Q 03/2022	4Q 03/2022		
現金及び預金	3,702	3,796	3,976	4,092	3,399	4,021	4,703	4,816	+724	
受取手形及び売掛金	8,682	9,053	9,454	9,629	10,504	10,901	10,675	11,235	+1,605	
たな卸資産	4,024	3,833	3,925	3,965	4,021	4,065	4,378	4,791	+825	
その他	223	267	292	373	315	438	395	437	+63	
流動資産	16,632	16,950	17,648	18,060	18,241	19,426	20,154	21,279	+3,219	
有形固定資産	6,846	6,090	6,210	6,194	6,462	6,796	6,797	7,012	+818	
無形固定資産	326	183	173	175	174	163	161	177	+2	
投資その他の資産合計	292	264	266	272	310	299	289	303	+31	
固定資産	7,465	6,538	6,651	6,641	6,947	7,259	7,248	7,494	+852	
資産合計	24,098	23,488	24,299	24,702	25,189	26,685	27,402	28,774	+4,071	
支払手形及び買掛金他	3,059	3,227	3,058	3,297	3,564	3,931	3,803	3,816	+519	
短期借入金	3,422	3,146	3,248	3,324	2,690	2,636	3,051	2,485	(839)	
その他	1,995	2,171	2,322	2,832	2,537	2,788	2,679	3,698	+865	
流動負債	8,477	8,545	8,629	9,454	8,791	9,356	9,534	10,001	+546	
長期借入金	2,739	2,582	2,413	1,251	1,104	957	810	907	(343)	
その他	1,593	1,571	1,702	1,559	1,562	1,649	1,732	1,557	(1)	
固定負債	4,332	4,154	4,116	2,811	2,667	2,607	2,542	2,465	(345)	
負債合計	12,810	12,699	12,745	12,266	11,459	11,963	12,077	12,466	+200	
株主資本	11,794	11,330	11,795	12,355	12,838	13,587	14,019	14,378	+2,022	
その他合計	(506)	(541)	(241)	80	891	1,134	1,305	1,928	+1,848	
純資産	11,287	10,788	11,553	12,436	13,729	14,721	15,324	16,307	+3,870	
負債純資産合計	24,098	23,488	24,299	24,702	25,189	26,685	27,402	28,774	+4,071	
自己資本	11,243	10,748	11,515	12,398	13,691	14,686	15,288	16,264	+3,866	
有利子負債	6,161	5,729	5,661	4,576	3,794	3,594	3,861	3,393	(1,182)	
ネットデット	2,459	1,933	1,685	484	395	(427)	(842)	(1,422)	(1,907)	
自己資本比率	46.7%	45.8%	47.4%	50.2%	54.4%	55.0%	55.8%	56.5%	-	
ネットデットエクイティ比率	21.9%	18.0%	14.6%	3.9%	2.9%	(2.9%)	(5.5%)	(8.7%)	-	
ROE(12ヵ月)	(25.5%)	(30.3%)	(7.2%)	4.0%	8.7%	17.9%	17.4%	14.2%	-	
ROA(12ヵ月)	3.0%	4.2%	6.0%	6.7%	9.9%	12.1%	12.4%	11.2%	-	
在庫回転日数	69	57	62	59	56	52	57	60	-	
当座比率	146%	150%	156%	145%	158%	159%	161%	160%	-	
流動比率	196%	198%	205%	191%	207%	208%	211%	213%	-	

出所: 会社データ、弊社計算

キャッシュフロー計算書（四半期累計）

キャッシュフロー計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021	1Q 03/2022	2Q累計 03/2022	3Q累計 03/2022	4Q累計 03/2022	
営業活動によるキャッシュフロー	-	1,215	-	2,942	-	1,392	-	2,941	(1)
投資活動によるキャッシュフロー	-	(437)	-	(670)	-	(638)	-	(1,099)	(429)
営業活動によるCF+投資活動によるCF	-	778	-	2,272	-	753	-	1,841	(430)
財務活動によるキャッシュフロー	-	(363)	-	(1,684)	-	(1,131)	-	(1,600)	+83

出所: 会社データ、弊社計算

2023年3月期会社予想

2023年3月期に対する会社予想（公表：2022年5月13日）では、売上高 43,500 百万円（前年比 10.5%増）、営業利益 3,300 百万円（8.5%増）、経常利益 3,270 百万円（8.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 2,100 百万円（2.9%増）が見込まれている。また、営業利益率 7.6%（0.1%ポイント低下）が見込まれている。一方、年間配当金予定 13.00 円（配当性向 13.7%）である。

半期業績動向（売上高／営業利益／営業利益率）

連結半期 (百万円)		売上高	営業利益	営業利益率
1Q-2Q FY03/2022		19,523	1,768	9.1%
3Q-4Q FY03/2022		19,834	1,273	6.4%
1Q-2Q FY03/2023会予		21,500	1,660	7.7%
3Q-4Q FY03/2023会予		22,000	1,640	7.5%
1Q-2Q FY03/2023会予	前年比	10.1%	(6.1%)	-
3Q-4Q FY03/2023会予	前年比	10.9%	28.8%	-

売上高と営業利益率



出所：会社データ、弊社計算（2023年3月期1Q、2Q、3Q、4Q：半期会社予想を均等に案分）

第2四半期累計期間に向けては、売上高 21,500 百万円（前年同期比 10.1%増）、営業利益 1,660 百万円（6.1%減）、営業利益率 7.7%（1.3%ポイント低下）が見込まれている。一方、下半期に向けては、売上高 22,000 百万円（10.9%増）、営業利益 1,640 百万円（28.8%増）、営業利益率 7.5%（1.0%ポイント上昇）が見込まれている。即ち、第2四半期累計期間及び下半期に向けて、売上高及び営業利益の絶対額は概ね同等とすることが見込まれているのだが、第2四半期累計期間は前年同期比で減益を余儀なくされることが見込まれている一方で、下半期に向けては前年同期比で大幅な増益とすることが見込まれている。結果、通期を通して増益が確保できることが見込まれている。

以上の背景として挙げられているのは、前年である 2022 年 3 月期における費用の拠出が下半期（特に第 4 四半期）に集中していることである。即ち、比較の対象となる 2022 年 3 月期においても第 2 四半期累計期間と下半期の売上高の絶対額は概ね同等（19,523 百万円、19,834 百万円）なのだが、営業利益率は、それぞれ、9.1%、6.4%である。これに鑑みれば、一定水準以上に及んで費用の拠出が下半期（特に第 4 四半期）に集中していたことが示唆されよう。

中長期業績見通し

2022年3月28日、同社は、中期経営計画「バリュークリエーション2024」（2023年3月期～2025年3月期）を公表している。定量的な業績目標としては、最終年度である2025年3月期に対して売上高50,000百万円、営業利益5,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,000百万円を達成することが掲げられている。2022年3月期の実績を起点とした場合の年平均成長率は、それぞれ、8.3%、18.0%、25.1%である。また、定性的な側面においては、これを上回る成長率を達成していきたいとのことである。

5.0 財務諸表

損益計算書

損益計算書 (百万円)	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結実績 通期 03/2021	連結実績 通期 03/2022	連結予想 通期 03/2023	前年比 純増減
売上高	41,025	40,935	35,348	32,462	39,358	43,500	+4,141
売上原価	29,367	29,463	26,161	23,375	27,913	-	-
売上総利益	11,658	11,472	9,187	9,086	11,444	-	-
販売費及び一般管理費	8,814	8,893	8,351	7,473	8,403	-	-
営業利益	2,843	2,578	835	1,613	3,041	3,300	+258
営業外損益	(111)	(31)	(122)	63	(33)	(30)	+3
経常利益	2,731	2,547	712	1,676	3,007	3,270	+262
特別損益	(215)	(897)	(3,332)	(662)	(159)	-	-
税金等調整前純利益	2,516	1,650	(2,619)	1,014	2,847	-	-
法人税等合計	725	686	866	535	802	-	-
非支配株主に帰属する純利益	1	3	0	1	4	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,788	960	(3,485)	477	2,040	2,100	+59
売上高伸び率	+11.9%	(0.2%)	(13.6%)	(8.2%)	+21.2%	+10.5%	-
営業利益伸び率	+42.8%	(9.3%)	(67.6%)	+93.0%	+88.5%	+8.5%	-
経常利益伸び率	+45.7%	(6.8%)	(72.0%)	+135.1%	+79.4%	+8.7%	-
親会社株主に帰属する当期純利益伸び率	+30.0%	(46.3%)	-	-	+327.2%	+2.9%	-
売上総利益率	28.4%	28.0%	26.0%	28.0%	29.1%	-	-
売上高販売管理費率	21.5%	21.7%	23.6%	23.0%	21.4%	-	-
営業利益率	6.9%	6.3%	2.4%	5.0%	7.7%	7.6%	(0.1%)
経常利益率	6.7%	6.2%	2.0%	5.2%	7.6%	7.5%	(0.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益率	4.4%	2.3%	(9.9%)	1.5%	5.2%	4.8%	(0.4%)
法人税等合計／税金等調整前純利益	28.8%	41.6%	-	52.8%	28.2%	-	-

出所：会社データ、弊社計算

地域別売上高

地域別売上高 (百万円)	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結実績 通期 03/2021	連結実績 通期 03/2022	連結予想 通期 03/2023	前年比 純増減
日本	17,153	16,776	14,565	12,338	14,020	14,800	+780
中国	20,100	19,898	16,836	16,888	20,956	23,700	+2,744
東南アジア	1,652	1,669	1,535	1,376	1,740	2,000	+260
欧米他	2,112	2,588	2,410	1,858	2,641	3,000	+359
売上高	41,025	40,935	35,348	32,462	39,358	43,500	+4,141
日本	+7.9%	(2.2%)	(13.2%)	(15.3%)	+13.6%	+5.6%	-
中国	+15.3%	(1.0%)	(15.4%)	+0.3%	+24.1%	+13.1%	-
東南アジア	-	+1.0%	(8.1%)	(10.3%)	+26.4%	+14.9%	-
欧米他	-	+22.5%	(6.9%)	(22.9%)	+42.2%	+13.6%	-
売上高（前年比）	+11.9%	(0.2%)	(13.6%)	(8.2%)	+21.2%	+10.5%	-
日本	41.8%	41.0%	41.2%	38.0%	35.6%	34.0%	-
中国	49.0%	48.6%	47.6%	52.0%	53.2%	54.5%	-
東南アジア	4.0%	4.1%	4.3%	4.2%	4.4%	4.6%	-
欧米他	5.1%	6.3%	6.8%	5.7%	6.7%	6.9%	-
売上高（構成比）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

出所：会社データ、弊社計算

業種別売上高

業種別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 03/2018	通期 03/2019	通期 03/2020	通期 03/2021	通期 03/2022	通期 03/2023	
「自動車」	18,390	17,877	15,370	13,682	16,442	17,600	+1,158
「電子部品／半導体」	7,890	7,558	6,113	6,315	8,043	8,500	+457
「家電／精密機器」	4,790	4,837	4,298	3,888	4,192	4,400	+208
「その他」	9,946	10,662	9,566	8,574	10,679	13,000	+2,321
売上高	41,025	40,935	35,348	32,462	39,358	43,500	+4,141
「自動車」	+9.7%	(2.8%)	(14.0%)	(11.0%)	+20.2%	+7.0%	-
「電子部品／半導体」	+13.0%	(4.3%)	(19.1%)	+3.3%	+27.4%	+5.7%	-
「家電／精密機器」	+7.1%	+1.0%	(11.1%)	(9.5%)	+7.8%	+5.0%	-
「その他」	+18.4%	+7.2%	(10.3%)	(10.4%)	+24.5%	+21.7%	-
売上高（前年比）	+11.9%	(0.2%)	(13.6%)	(8.2%)	+21.2%	+10.5%	-
「自動車」	44.9%	43.7%	43.5%	42.1%	41.8%	40.5%	-
「電子部品／半導体」	19.3%	18.5%	17.3%	19.5%	20.4%	19.5%	-
「家電／精密機器」	11.7%	11.8%	12.2%	12.0%	10.7%	10.1%	-
「その他」	24.2%	26.0%	27.1%	26.4%	27.1%	29.9%	-
売上高（構成比）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

出所：会社データ、弊社計算

1株当たりデータ

1株当たりデータ (株式分割調整前) (円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 03/2018	通期 03/2019	通期 03/2020	通期 03/2021	通期 03/2022	通期 03/2023	
期末発行済株式数(千株)	22,122	22,122	22,122	22,122	22,332	-	-
当期純利益／EPS(千株)	21,921	21,864	21,786	21,813	21,859	-	-
期末自己株式数(千株)	200	380	313	303	276	-	-
1株当たり当期純利益	81.61	43.92	(160.01)	21.90	93.36	94.99	-
(潜在株式調整後)	81.35	43.74	-	21.78	84.36	-	-
1株当たり純資産	736.64	721.49	536.64	568.26	737.40	-	-
1株当たり配当金	16.75	16.75	2.00	2.00	13.00	13.00	-
1株当たりデータ (株式分割調整後) (円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
(円)	通期 03/2018	通期 03/2019	通期 03/2020	通期 03/2021	通期 03/2022	通期 03/2023	
株式分割ファクター	1	1	1	1	1	1	-
1株当たり当期純利益	81.61	43.92	(160.01)	21.90	93.36	94.99	-
1株当たり純資産	736.64	721.49	536.64	568.26	737.40	-	-
1株当たり配当金	16.75	16.75	2.00	2.00	13.00	13.00	-
配当性向	20.5%	38.1%	(1.2%)	9.1%	13.9%	13.7%	-

出所：会社データ、弊社計算

貸借対照表

貸借対照表 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 03/2018	通期 03/2019	通期 03/2020	通期 03/2021	通期 03/2022	通期 03/2023	
現金及び預金	3,770	3,579	3,389	4,092	4,816	-	-
受取手形及び売掛金	12,095	10,988	9,942	9,629	11,235	-	-
たな卸資産	4,425	4,663	4,229	3,965	4,791	-	-
その他	549	327	230	373	437	-	-
流動資産	20,842	19,559	17,792	18,060	21,279	-	-
有形固定資産	9,939	9,972	7,134	6,194	7,012	-	-
無形固定資産	1,157	1,001	344	175	177	-	-
投資その他の資産合計	621	621	304	272	303	-	-
固定資産	11,718	11,595	7,784	6,641	7,494	-	-
資産合計	32,560	31,155	25,576	24,702	28,774	-	-
支払手形及び買掛金他	4,597	4,148	3,660	3,297	3,816	-	-
短期借入金	3,730	4,326	3,148	3,324	2,485	-	-
その他	4,322	3,056	2,471	2,832	3,698	-	-
流動負債	12,649	11,531	9,280	9,454	10,001	-	-
長期借入金	2,151	2,341	2,927	1,251	907	-	-
その他	1,584	1,547	1,621	1,559	1,557	-	-
固定負債	3,736	3,889	4,548	2,811	2,465	-	-
負債合計	16,385	15,420	13,829	12,266	12,466	-	-
株主資本	15,096	15,500	11,913	12,355	14,378	-	-
その他合計	1,077	234	(166)	80	1,928	-	-
純資産	16,174	15,734	11,747	12,436	16,307	-	-
負債純資産合計	32,560	31,155	25,576	24,702	28,774	-	-
自己資本	16,148	15,686	11,703	12,398	16,264	-	-
有利子負債	5,882	6,668	6,075	4,576	3,393	-	-
ネットデット	2,111	3,088	2,686	484	(1,422)	-	-
自己資本比率	49.6%	50.4%	45.8%	50.2%	56.5%	-	-
ネットデットエクイティ比率	13.1%	19.7%	23.0%	3.9%	(8.7%)	-	-
ROE (12ヵ月)	11.8%	6.0%	(25.5%)	4.0%	14.2%	12.2%	-
ROA (12ヵ月)	8.8%	8.0%	2.5%	6.7%	11.2%	-	-
在庫回転日数	55	58	59	62	63	-	-
当座比率	125%	126%	144%	145%	160%	-	-
流動比率	165%	170%	192%	191%	213%	-	-

出所：会社データ、弊社計算

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 03/2018	通期 03/2019	通期 03/2020	通期 03/2021	通期 03/2022	通期 03/2023	
営業活動によるキャッシュフロー	3,393	3,185	2,490	2,942	2,941	-	-
投資活動によるキャッシュフロー	(2,335)	(3,253)	(1,788)	(670)	(1,099)	-	-
営業活動によるCF+投資活動によるCF	1,058	(68)	701	2,272	1,841	-	-
財務活動によるキャッシュフロー	(738)	74	(772)	(1,684)	(1,600)	-	-

出所：会社データ、弊社計算

Disclaimer

ここでの情報は、ウォールデンリサーチジャパンが当該事業会社の発信する「IR 情報」を中立的かつ専門的な立場から要約して、レポート形式にまとめたものである。「IR 情報」とは、即ち、当該事業会社に係る①弊社との個別取材の内容、②機関投資家向け説明会の内容、③適時開示情報、④ホームページの内容などである。

商号：株式会社ウォールデンリサーチジャパン

本店所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座 6 丁目 14 番 8 号 銀座石井ビル 4 階

URL：<https://walden.co.jp/>

E-mail：info@walden.co.jp

Tel: 03-3553-3769